

中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	商学部	身分	教授
氏名	江口 匡太		
NAME	Eguchi, Kyota		

中央大学特定課題研究費による研究期間終了に伴い、中央大学学内研究費助成規程第15条に基づき、下記の通りご報告致します。

1. 研究課題

(和文) 衆議院の小選挙区制導入が選挙公約に与えた影響に関する研究

(英文) A study on the impact of the SMD system in the House of Representatives on campaign strategies

2. 研究期間

2023年度～2024年度

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文600字程度、英文50word程度）

(和文)

旧中選挙区制では地元への利益誘導に力を入れ、候補者個人の業績や能力をアピールする傾向にあったが、小選挙区制では政党対決色が強まり、党本部や党首の力が重要になったと言われてきた。そこで、本研究は「選挙公報」を通して、衆議院の選挙制度改革が政治家の行動や公約に与えた影響について実証的に分析した。

2023年9月に明治大学で開催された日本政治学会で発表した論文を、"Big-size name presentation and fierce campaign in the SMDs in Tokyo"と改訂した。その主な内容は、(i)衆議院の選挙区当たりの議席定数が減少するにつれて、候補者が氏名を強調して自己PRを行う可能性は低下したが、(ii)参議院と比較すると、小選挙区制の導入によって、候補者は氏名をより強調するようになったことが示された。本論文は英文査読誌への投稿作業中である。

また、地元への利益誘導についても、選挙区割りに変化のなかった選挙区を含む都道県についてデータベース化を終了した。東京都以外では地域性を反映した地元への利益誘導的な政策が目立つことが分かった。

(英文)

I have empirically analyzed the impact of the House of Representatives electoral reform on politicians' actions and campaign promises shown in the electoral bulletin, *sennkyo-koho*. I have written a paper, "Big-size name presentation and fierce campaign in the SMDs in Tokyo", which I am trying to publish in a peer-reviewed academic journal. I have also created a database on pork barrel politics for the local voters and found that pork barrel politics is more common in the rural prefectures.